

## ▼プロペシア錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】フィナステリド (U) finasteride 【分類】男性型脱毛症用薬

【単位】▼0.2mg・▼1mg錠

【常用量】0.2mg/日 [最大1mg/日：ただし増量による効果の増強は確認されていない]

【用法】1日1回

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (1)

【保存期CKD患者への投与方法】減量の必要なし (1)

【特徴】男性ホルモン(テストステロン)をより強力な男性ホルモンであるジヒドロテストステロン(DHT)へ変換する効果である5 $\alpha$ -還元酵素II型の阻害剤。米国では前立腺肥大症治療にも用いられている (U)

【主な副作用・毒性】かゆみ、睾丸痛、乳房肥大、乳房圧痛、勃起不全、射精障害など

【吸収】食事の影響を受けない (1) 100%吸収され、20%未満は初回通過効果を受ける (11)

【F】約80% (1) 63~65% (U)

【tmax】1.2~1.4hr (1) 1~2hr (U) 【ka】資料なし (1)

【代謝】CYP3A4により代謝され、主代謝物M-1、M-3の活性はそれぞれ未変化体の1/3、1/13 (1) M-1は初回通過効果により生成 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率0%で代謝物として尿中(39%)および糞便中(57%)に排泄される(1,11,U) 腎障害患者では尿中排泄が障害されるが、糞便中排泄が増加するため体内動態の変化はほとんどない (1) 【CL】9.9L/hr [iv] (1)

【t1/2】3~4hr (1) 6hr (U) 70歳以上で8hr (U) 6hr (11)

【蛋白結合率】83~85% (1) 90% (U) 93% (11)

【Vd】76L/man (1,11,U)

【MW】372.55

【透析性】資料なし (1) 蛋白結合率が高いため除去率は低いと思われる (5)

【O/W係数】LogP=3.5 [1-オクタノール/水系] (1)

【相互作用】PSA値が約40%低下することが知られているため、前立腺癌の診断にはPSA値を2倍した値を目安として評価する (1)

【備考】効果が発現するまで通常6ヶ月の連日投与を要する。6ヶ月間内服して進行遅延が見られない場合は中止。調剤及び服用時に本剤を分割・粉砕不可。粉砕・破損した際には妊婦・妊娠の可能性のある方・授乳中の方に本剤を取り扱わせない [男児胎児の生殖器官等の正常発育に影響を及ぼす恐れがあるため] (1)

【更新日】20160204

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。